

これからの人権教育の重要性が見えてきた！

人権同和教育課

人権教育の動向について

平成31年2月、第三期の鹿児島県教育振興基本計画が策定されました。今後5年間本県の教育は本振興基本計画に沿って推進することになります。そこで、今回は、その根拠となる学習指導要領、教育再生会議の提言、国の教育振興基本計画の中で人権教育に関わる部分を焦点化しました。

背景

日本の高校生の自己肯定感は、諸外国と比較して大変低い結果
 日本：44.9% 米国：83.8%
 中国：80.6% 韓国：83.7%
 (国立青少年教育機構 平成29年度国際比較調査)

A 新学習指導要領 (H29.3.31) 【前文から抜粋】

これからの学校には、こうした教育の目的及び目標の達成を目指しつつ、一人一人の児童(生徒)が自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。

教育再生実行会議

2013年に設置された第2次安倍内閣の有識者会議。「21世紀の日本にふさわしい教育体制を構築し、教育の再生を実行に移していくための方策について、内閣の最重要課題の一つとして教育改革を推進する」ことを目的として設置。メンバーは首相、官房長官、文部科学大臣、産官学(産業界、国や地方自治体、大学や研究機関の総称)からの参加者ら計16名で構成。これまで平成25年2月25日の「第一次提言」から令和元年5月17日「第十一次提言」まで発表。人権教育に係る内容は第十次提言で提示。

B 教育再生会議第十次提言 (平成29年6月1日)

このことは、各学校が、学習指導要領の理念を踏まえ、子供たちの自己肯定感を育むことを目標として掲げつつ、日頃の教育活動を行っていくことが大切であることを示したものであると言えます。改訂後の学習指導要領の下、各学校において「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業改善を進めることとしていますが、学校においては、こうした授業改善に係る様々な取組を行う中で、自己肯定感を高めていくための取組…

中央教育審議会

中教審は文部科学大臣の諮問機関。会議体が複数あると議論が重複するため、教育再生実行会議は広い知見から、中教審は専門的な事項について、主に、教育行政の重要な制度改革を中心に審議。委員30人以内。今回の答申においては、2030年以降の社会の変化を見据えた教育政策の在り方を示すとともに、教育施策の立案につなげるための方策について提示。本答申の趣旨を十分に踏まえた第三期教育振興基本計画の策定を政府に要望。

C 第三期教育振興基本計画 (平成30年6月15日閣議決定)

目標(2) 豊かな心の育成

子供たちの豊かな情操や道徳心を培い、正義感、責任感、規範意識、自他の生命の尊重、自己肯定感・自己有用感、他者への思いやり、人間関係を築く力、社会性、個人の価値を尊重し、男女の平等を重んじる態度…

(測定指標)

自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善

ポイント

教育振興基本計画で示す測定指標「自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合」は全国学力・学習状況調査の質問紙調査で測定！
 したがって、各学校でも自校の状況を確認できる！

国が求めていることは…

人権教育の目標そのもの

学習指導要領前文・教育再生会議及び教育振興基本計画で示されていることは、「子供たちの自己肯定感を育むことを目標として掲げつつ、日頃の教育活動を行っていくことが大切である」ということ

自他の大切さを認めることができる子供の育成

鹿児島県では

鹿児島県教育振興基本計画
2019年度～2023年度

□基本目標
夢や希望を実現し未来を担う鹿児島の人づくり
～あしたをひらく心豊かでたくましい人づくり～

□目指す人間像

- 知・徳・体の調和のとれ、主体的に考え行動する力を備え、生涯にわたって積極的に自己実現を目指す人間
- 伝統と文化を尊重し、それらを生かして豊かな国と郷土を築く態度を養い、これからの社会づくりに貢献できる人間

2019(平成31)年2月
鹿児島県教育委員会

今後5年間に取り組む5つの施策のうち、

1 お互いの人格を尊重し、豊かな心と健やかな体を育む教育の推進 ③ 人権教育の推進

- 全ての教育活動を通じた児童生徒の人権尊重の精神の高揚
- 教職員等の人権意識の高揚・資質の向上、指導内容・方法の工夫・改善

「共通実践」点検・評価

人権教育資料等の活用

指導内容・方法の工夫・改善

社会教育における人権教育の充実

URL: www.pref.kagoshima.jp/ba01/kyoiku/.../shinkoukeikaku.html